

第 2 回精華町健康総合拠点施設のあり方検討会議 議事録

日時	令和元年 10 月 29 日（火）午後 1 時 30 分～午後 3 時
場所	精華町庁舎 6 階 審議会室
出席者	桂会長、地主副会長、岸田委員、内田委員、三沢委員、野澤委員、田中委員、長谷川委員、森委員、阪本委員、近藤委員、矢田委員、北崎委員
次第	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>（1）健康総合拠点施設についての考え方の再整理（資料 1）</p> <p>（2）健康総合拠点施設整備候補地の調査について（資料 2）</p> <p>（3）参考事例の紹介（資料 3）</p> <p>（4）諸室機能・設備について意見交換</p> <p>3 その他</p> <p style="padding-left: 2em;">次回検討会議の開催について</p> <p>4 閉会</p> <p><配布資料></p> <p>○（別紙 1）精華町健康総合拠点施設のあり方検討会議 委員名簿</p> <p>○（資料 1）健康総合拠点施設についての考え方の再整理</p> <p>○（資料 2）健康総合拠点施設整備候補地の調査について</p> <p>○（資料 3）参考事例の紹介</p>
1 開会	<p>挨拶 健康福祉環境部長</p> <p>お忙しい中、出席をいただきありがとうございます。現在、台風 19 号の被害が出ています。本町としては、災害復旧の援助として消防等が協力している状況です。一日も早い復旧を願います。さて、第 1 回目のあり方検討会議は、基本構想と現状について、保健センターを会場に議論をおこないました。本日、第 2 回では健康総合拠点施設の考え方の整理、事例紹介による意見交換等を行う予定です。</p> <p>委員の皆さまにおかれましては、忌憚のない意見を出していただき、円滑な進行にご協力いただきますようお願いいたします。</p> <p>要綱第 6 条第 2 項に基づき、委員出席の確認を行った。</p> <p>委員 13 名中、全委員の出席により本会議は成立。</p> <p>前回欠席委員の紹介を行った。</p>
あいさつ 会長	<p>先週は北海道で災害医療について、高知で公衆衛生学会、母子保健学会に参加していました。現在、災害、母子保健、高齢者対策が重要であり、継続して議論がされています。10 年後 20 年後を見据えて保健事業を考える必要があると思います。皆様忌憚のない意見をお出しただいて、会議の運営が良いものとなるようご協力よろしくをお願いいたします。</p>
2 議事 事務局	<p>議事</p> <p>（1）健康総合拠点施設についての考え方の再整理（資料 1）</p> <p>事務局より説明。</p> <p>続けて議事</p> <p>（2）健康総合拠点施設整備候補地の調査について（資料 2）</p> <p>事務局より説明。</p>

	<p>続けて議事</p> <p>(3) 参考事例の紹介 (資料3)</p> <p>計画コンサルティング業者の地域計画建築研究所より説明。</p>
会長	<p>(4) 諸室機能・設備について意見交換</p> <p>それでは、参考事例を聞いていただいて諸室機能・設備についてご意見をいただきたいと思います。まず1つ目に、住民活動交流機能、交流スペース・情報共有スペースについて行います。住民活動をされている立場から、住民活動の支援として、あるといいと思う諸室の条件や設備についてご意見をいただければと思います。高齢者の健康づくりの視点から北崎委員ご発言をお願いします。</p>
北崎委員	<p>現在、精華町健康づくり・介護予防サポーターは78名で、10月から第5期生を養成しています。体操で健康づくりや居場所づくりを行い、役場の集団健診と併せて体力測定で評価も行っています。参加している方へのアンケート調査では、体力の向上より、友達や交流ができたことを1番に実感していることが分析できました。現在は、体操を各集会所で行っていますが、今後は全員で集まれ、交流できる場所、サポーターの研鑽のための研修スペースがあればと思います。また、健診と併せて体力測定ができる場所、専門家からアドバイスをもらえる体制があればと思います。また、若い世代や様々なボランティアが交流できるスペースや情報発信機能なども必要だと思います。</p>
会長	<p>せいか健康づくりプロジェクトの立場から阪本委員ご発言をお願いします。</p>
阪本委員	<p>現在、せいか健康づくりプロジェクトは、6団体あり、今年度から代表者が集まってプロジェクトの研修交流会の企画を行い、80人位が集まり交流会をしています。様々なボランティアが、足を運びやすい場所に交流する広いスペースが必要だと思います。</p>
会長	<p>子育てサークルの視点から近藤委員ご発言お願いいたします。</p>
近藤委員	<p>児童館のような雨でも子供が使える場で体を動かすことができる場所があるといいと思います。予算がないならおもちゃ等はレゴランドを誘致する等の方法もあると思います。核家族化が進んでいるので、昔遊びの紹介を親子へ高齢者にしてもらおう等、高齢者と親子が関われる場があればいいと思います。ただ、不特定多数の方が入ることでセキュリティ等の安全面への配慮も必要であると感じています。</p>
会長	<p>引きつづき、子育てサークルの矢田委員ご発言お願いいたします。</p>
矢田委員	<p>今のお母さんが孤立しないように、交流できるスペースがあればいいと思います。他のサークルと交流ができ、いろんな地域が交流や情報交換ができる場所があるといいと思います。</p>
会長	<p>障害のある児の子育て支援を行う立場から地主副会長ご発言お願いいたします。</p>
地主副会長	<p>障害児の子育ての支援をしていて感じることは、親同士の交流が減ってきていて、福祉サービスの充実により、支援者を頼る方向になりやすくなってきている。ただ、乳幼児期は、まだまだわからないことが多いので小さい時はつながりを持つために、集まる場所、団体はあると思うので、場づくりが必要であると思います。</p>
会長	<p>子育て支援ボランティアの立場から田中委員ご発言をお願いいたします。</p>
田中委員	<p>子育て支援パートナーは、密室子育てに対する場づくり支援を目的に13年前に活動が発足しました。パートナーは、町の子育て支援事業の託児事業を実施しています。託児は行っているが、良い場所がないという状況にある。以前に研修に行った「ゆめっこ」は、支援者、親子にとっても良い場所でした。拠点になる施設は、託児も安心、安全にできる参考事例にもある「ゆめっこ」のようなものがあるといいと思います。</p>

会長 野澤委員	食生活改善推進員の立場から野澤委員ご発言をお願いいたします。 大雨災害が、近年多くみられる建設地は災害に影響を受けない、立地しやすい場所で建設してほしい。現在、あすなる会では料理教室を開催しています。料理教室は、地域の集会所での開催で、口コミでの参加が多い状況です。年に何回か集まって、楽しめる広い場所を希望します。
会長 長谷川委員	社会福祉関連ボランティア支援の立場から長谷川委員ご発言をお願いいたします。 現在、30人程度の研修室はあるが、ボランティア同士が交流できる100～150人規模の研修ができる場があるといいと思います。イベントができるホールがあり、椅子や机が使いやすい設えにしていきたい。又、社協では地域活動の見える化を図るため、広報活動動画を作成し放映しています。活動紹介動画が見られるようなサロンのような場があるといいと思います。
会長 三沢委員	様々な委員からの意見を基に、事務局で計画に反映していただきたいと思 います。 2つ目に、危機管理機能について意見交換を行います。今回、本施設は災害時に派遣される保健医療支援チームの受援等の中核拠点としての機能を示しています。発災時の保健医療チームの中核拠点として、あると思う諸室の条件や設備について専門家よりご意見をいただければと思います。山城南保健所三沢委員ご発言をお願いいたします。
事務局	町内には、避難所や福祉避難所があります。本施設は、避難所とは別に考える必要があると思います。 考え方の再整理について、質問があります。母子手帳の交付については、子育て世代包括支援センターで渡すことは想定されていないのでしょうか。
会長 岸田委員	現在のところは、母子手帳の交付は、役場で想定しています。施設整備を進めていくにあたって、メリット、デメリットを精査して調整をしていきます。 地域の災害医療の立場から岸田委員ご発言をお願いいたします。 大規模な災害時には、DMAT、JMATが保健医療チームとして派遣され被災地の医療支援を行います。相楽医師会では、発災時に通信ができないことを想定してSNSを使った医師会会員や三師会の安否確認のシステム構築に取り組んでいます。発災時に、受け入れ可能医療機関の把握・調整を図る体制整備構築を図っています。
会長 内田委員	現在、町と締結している協定や防災会議等の見直しが必要であると感じています 発災時に医薬品の備蓄体制を整えるなら、臨時の医師会を開くための医師会の設置などのハード面の整備も希望します。また、災害時には、町の保健医療との連携において、医師会と保健師とのつながりがさらに大切になってくると 思います。
会長 三沢委員	引き続き、内田委員ご発言をお願いいたします。 発災時に歯科医療は必要かという点では、48時間以内には、外傷対応、2日目～1か月目の安定期には、歯茎の痛みや入れ歯の相談、長期化してきた際には、歯磨き等の口腔ケアの実施と誤嚥性肺炎への予防が重要であると言われてい ます。発災時に保健医療の拠点施設の役割を果たすためには「水」や自家発電を行う「電気」等のライフラインの確保が必要であると考えます。歯科医療は、電気と水が必須ですので、発災時に既存の歯科医院との協力体制を結ぶことも必要であると考えます。 発災時の拠点の役割をさらに明確にしておく必要がある。特に透析患者への支援など医療連携体制等では、保健所との連携が必要不可欠であると考えます。 先日、大規模災害3日目を想定して、医師会及び保健所、町で精華町防災訓

	<p>練に取組み、連携を行った。今後も関連団体と連携を行っていきたいと考えている。</p>
<p>会長</p>	<p>水と電気の確保や保存場所についても十分に考慮して、施設計画を進めて下さい。</p>
<p>森委員</p>	<p>地域福祉の立場で要支援者の見守りなどを行っている立場、住民としての立場から、災害医療に求めるものについて森委員ご発言お願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>最近の大雨災害で住民の関心が高い状況となっています。ハード面に加え、ソフト面の見守りが災害時には重要であると考えます。民生児童委員としては避難行動要支援者に対して、日頃から見守りを行っています。住民の災害への関心度を高めること、関係者間の連携を図ることが必要であると考えます。また、医薬品の備蓄や供給を含め、避難所に避難してからの医療の必要な人への対応などの連携や体制づくりが必要であると考えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>住民活動交流機能では、住民の皆様からの活動を通しての意見、危機管理機能では、専門家の方から災害想定をおこなったの貴重な意見をたくさんいただきました。事務局の方で計画策定に取り入れていただければと思います。</p>
	<p>本日、みなさんの意見をお聞きし、住民活動機能としての居場所の必要性、危機管理機能の重要性の高まりを感じています。本計画の策定にあたっては、前回にも述べましたとおり、「精華町まちづくり基本構想」とも整合性をとり、まとめていきたいと考えています。また、子育て支援機能についても十分考慮し、全世代にご利用いただける施設となるよう計画に示したいと考えています。</p> <p>次回も、皆様におかれましては、忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。</p>
<p>3 その他</p>	
<p>次回 あり方検討会議の日程について</p>	
<p>第3回 精華町健康総合拠点施設あり方検討会議</p>	
<p>日時 令和元年12月17日(火)午後1時30分～</p>	
<p>場所 庁舎6階 審議会室</p>	
<p>4 閉会</p>	